



代表で表彰を受けた佐川さん親子

## よい歯の子と育てた家族に表彰状

第27回よい歯の子と育てた家族の表彰の受賞者が決定し、46人の3歳児とその家族が受賞しました。今回は、新型コロナウイルス感染症警戒のため、表彰式が中止となりましたが、式当日に謝辞を述べる予定だった、佐川陽紀くん・寿美江さん親子が、受賞者を代表し3月12日に第一保育園で堤村長から表彰状と記念品を受け取りました。

**表彰された子(敬称略)** ▼川島快土、石井思津来、石井愛菜、平林来、狩野柊哉、

原口稜平、倉澤芽衣、高橋律、星野蒼唯、星野蒼佑、栗原実佐子、角田桜雅、林陽菜、鈴木鳳晟、廣田蒼太、角田蓮音、小平玲斐、加藤朝陽、横坂志穂音、大矢美月、白木鈴香、茂木陽聖、関上周秀、横坂乃音、石北優多、石北多実、神尾遼林和臣、諸田陽愛、小池真碧、林樹希、西池楓太、石川智尋、河野喜心、佐川陽紀、林柚芭、南雲敢太、小林義基、石井丈太、加藤梨愛、山田千紗、高嶋将佑、杉谷優翔、堤優愛、荒木優志、中里武信

## 赤城大地の会に優良団体表彰

多面的機能支払交付金事業の優良団体表彰式が3月26日、役場で開かれ「赤城大地の会」(赤城原・清水十二夫会長)が表彰されました。この表彰は、農地や水路・農道等の環境を守り、多面的機能を引き出す活動に交付される「多面的機能支払交付金事業」の共同活動に模範的に取り組んでいる団体に贈られるもの。群馬県知事代理として出席した長谷川淳利根沼田農業事務所長が清水会長に表彰状を授与しました。清水会長は「地元自治

会と連携し良い活動ができた。今後も課題に対し交付金を有意義に活用させていただきます」と謝辞を述べました。



表彰状を受ける清水代表



受賞した「赤城大地の会」役員の皆さん

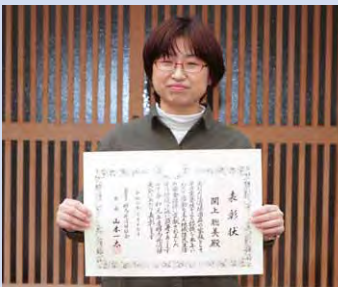
### 関上聡美さんに

#### 消防団家族表彰

令和元年度群馬県消防大会が3月19日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために中止となりました。

大会では、村消防団ラッパ長の関上宏さん(森下下)の妻・聡美さんが群馬県消防協会会長表彰の家族の部で表彰される予定でしたが、別途伝達となりました。

聡美さんは、消防団活動の重要性を認識され、永年にわたり夫・宏さんの消防団活動を支えてこられ、地域の安全に貢献されています。



表彰を受けた関上さん

# 新型コロナウイルスの影響乗り越え卒業式

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、臨時休業となっている村内小中学校で3月中に卒業式が行われました。

この感染症への警戒のため、来賓や在校生を大幅に減らすなど規模を縮小しての実施となった小中学校の卒業式は、出席者がマスクを着用し、座席の間隔を広く取るなど対策をとって行われました。

昭和中学校では13日、66人の生徒が卒業。在校生を代表し、唯一出席した阿部岳琉君は「本日参加することができなかった在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。」



整然と入場する卒業生(昭和中)

「私たちが導いてくださった皆さんは私たちの誇りです」と感謝を込めて送辞。卒業生を代表し答辞を読み上げた儘田陸君は「在校生の皆さん、4月から皆さんが、新しい昭和中学校を築いていきます。今までの良き伝統を引継ぎながら、より良い昭和中学校を目指し頑張ってください」と在校生へエールを送りました。

また、各小中学校では25日に卒業式が行われ、50人がそれぞれ思い出の詰まった学舎から旅立ちました。



出席できない在校生への思いをのせた答辞(昭和中)



最後に卒業証書を受けた武井さん(南小)



感染予防のためマスク着用で行われた式(南小)

## 新たな計画がスタート

村第5次総合計画の前期基本計画と村総合戦略の計画期間が令和元年度で終了するため、令和2年度から5年間の村づくりの指針となる後期基本計画と第2期総合戦略の策定に向け、総合計画審議会・総合戦略推進会議が3月4日、役場会議室で開催されました。

審議会・推進会議には、永井議会議長や今楢区長会長をはじめ、村内各種団体の代表者など25人が出席。1月から計画内容が審議され、各委員からの意見を反映させた後期基本計画と第2期総合戦略が承認され、令和2年度から新たな計画がスタートしました。



計画の内容を審議する委員の皆さん